

公益信託「コープこうべ環境基金」の活動報告（2015年度）

設立：1992年3月31日 趣旨：兵庫県内の自然環境保全のために活動している団体を支援する。

2015年度の助成先については、2014年2月19日のコープこうべ環境基金運営委員会で、35団体の応募の中から21団体に総額268万円の助成を決定、実施しました。

〈2015年度の助成団体と助成額〉 ★印は2015年度初めて助成が決まった団体です。 (単位：万円)

NO	助成団体	活動内容や助成金の使途	金額
1	★エコの森整備・活用会	佐用町にある「ひょうご環境体験館」を中心に、地域の里山整備、自然観察ゾーン整備、季節ごとの環境学習実施。 *苗木・肥料購入、学習パネル作成等に使用。	5
2	宝塚エコネット	宝塚市にある松尾湿原の再生・保全のための間伐・草刈・落ち葉かき、植生・昆虫生息調査や自然観察会の実施。 *講師謝金、パンフ印刷費、消耗品購入等に活用。	8
3	鴨庄オオムラサキ飼育の会	丹波市鴨庄川流域で国蝶オオムラサキの舞う里の再現をめざし、里山の整備保全、生物多様性保全等の学習会開催。 *苗木・肥料・試薬購入、学習パネル作成に利用。	10
4	高砂海浜公園海辺の保全集いの会	高砂海浜公園海辺の「アオサ」を回収し、堆肥化するプロジェクト。地引網漁体験などを通じ、漁業資源と環境とのつながりの学習を実施。 *アオサ回収用具、漁業体験料に活用。	20
5	兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	数少ない生息地であるハチ高原で、幼虫の食草であるオミナエシの増殖、植栽を通じて生息環境を維持。オミナエシ植栽会、成虫の観察会などを行う。 *種・苗代、育苗備品代に充当。	20
6	よこおみち森もりの会	神戸市須磨区横尾地区では野路菊育成、雑木林・竹やぶ整備、友が丘地区では竹林道整備、植栽用つつじの育苗を行う。 *整備用具、土の購入、パンフ印刷代などに使用。	10
7	ブルーアンドグリーンネットワーク	神戸・明石海岸の海浜植物、貝類等の生息状況調査。海岸の生きもの観察会を通じ、自然環境や生物多様性を考える学習を展開。 *調査、マップ作成資材等に活用。	10
8	あいな野草くらぶ	神戸市北区で、里山の再生による希少種保全、自生植物の見本園による啓発活動を実施。 *土、肥料、種子・苗代、整備用具、講師謝金などに利用。	18
9	★身近な自然とまちを考える会	川西市黒川地区の休耕田・トンボ池整備、猪名川水系の生物調査、小学校の里山体験学習支援を行う。 *草刈機、調査備品購入、看板等作成などに活用。	15
10	多紀連山のクリンソウを守る会	多紀連山に自生するクリンソウ保護のための自生地整備及び定点観察、周辺エリアの植生調査を実施。 *遊歩道の整備資材費、講師謝金、参考図書購入などに活用。	10
11	淡路東浦ため池・里海交流保全協議会	漁業資源を豊かにするための、ため池管理者と漁業者が連携したかいぼり（池の清掃）を行い、小学生の環境学習フィールド提供。 *かいぼり用具、鯉の稚魚購入費に充当。	15
12	須磨ふるさと生き物サポーター	神戸市須磨区旧市街地地域の在来生物保全と外来種駆除、地域の子ども・親子参加の活動で次世代育成を行う。 *生き物飼育・採集用具、森林整備用具購入に利用。	15
13	兵庫丹波オオムラサキの会	オオムラサキ舞う里山づくりに向け、越冬幼虫の探索と生育環境の検証、学校の環境学習支援を行う。 *育苗備品購入、講師謝金、パンフ作成等に使用。	10
14	★六方（ろっぽう）めだか公園	豊岡六方地域の田んぼで、めだかの住環境保全のための草刈り、うね整備、水管理、及び水質・生きもの調査の実施。 *種子代、整備機材燃料第、講師謝礼に充当。	10
15	東お多福山草原保全・再生研究会	六甲山系のススキ草原の再生・維持管理のための地上植物刈取り、効果検証のための調査、生物多様性ガイド養成講座の実施。 *整備用具消耗品・燃料購入に利用。	10
16	★特定非営利活動法人 いながわメダカコムズ	猪名川町の自然環境保全に向け、環境交流館のピオトープや樹木の維持管理、メダカを素材にした交流・勉強会開催。 *教材・パンフ作成、講師謝金に充当。	5
17	武庫川流域圏ネットワーク	安全・安心して魅力ある武庫川づくりにめざし、河川清掃&学習の実施、外来種駆除、流域で活動する他団体との交流会を行う。 *河川清掃用具購入、パンフ印刷などに活用。	10
18	NPO法人 たつの・赤トンボを増やそう会	童謡「赤とんぼ」に歌われるアキアカネの人工飼育、田んぼでの羽化実験とともに、観察会、針金トンボ・竹トンボ教室を開催。 *講師謝金、チラシ作成費に使用。	20
19	丹波地域のホトケドジョウを守る会	ホトケドジョウ保全を目的としたモニタリング調査、近隣の生息地探索、小学校への環境学習支援を行う。 *検査試薬、生息地補修備品、図書購入に利用。	12
20	特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所	生息数が減少しているオオサンショウウオの保全に向け、産卵環境の調査、固体確認調査、産卵巣穴での行動観察を行う。 *データロガー、監視カメラ購入に使用。	10
21	六甲山を活用する会	六甲山において、多様な植生を抑えているアセビ雑木林の伐採とその効果検証、ならびにアセビ密生地域の分布調査の実施。 *調査材料費、教材パンフ作成に活用。	25

2015年度は、「自然環境保全に向けた実証的調査・研究部門」への助成は該当なしでした。

〈環境基金の推移〉

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	累計 (開始以降)
助成金額(千円)	2,900	2,900	2,850	2,800	3,000	2,680	69,050
助成件数(件)	32	16	20	20	24	21	526
信託財産額(千円) ※年度末現在	383,414	378,783	377,550	375,559	374,227	372,202	